



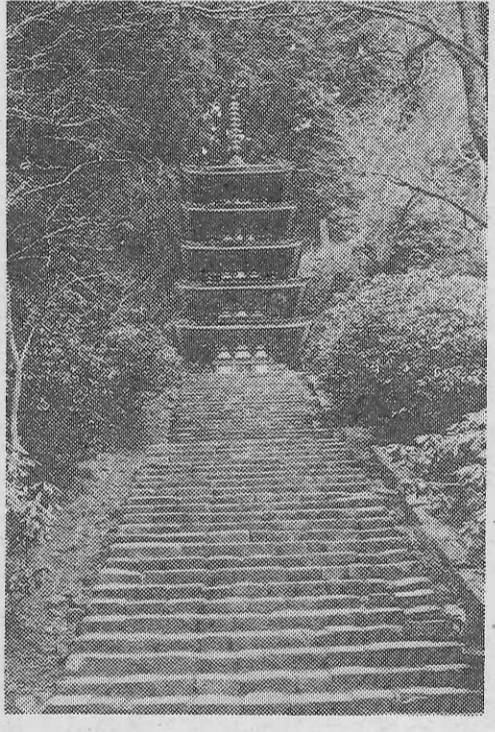
# 旅

丹塗りの反り橋を渡って、また門をあげたばかりの朝の境内、老朽にしまった、いつもは静かな空生寺も、女人高野にふさわしく、これからは艶やかなたずまいをみせ、丹塗りの太鼓橋や五重塔も、朽ち果て映えて美しい。空生寺を訪ねるには、フジフェリーを利用するのが旅行上手。東京港を夕方出港する伊勢松阪行きにのれば、翌早朝には、大和路にほど近い松阪港に着く。まる一日ゆくり大和路だのしめる。料金も安い、時間も有効に使えるから週末旅行には好適だ。松阪から空生寺大野駅までは近鉄で約一時間、駅前からはバスで二十分、空生川沿いに登っていくと、樹々のあいだに空生寺が見えてくる。

## 山かげに静もる空生寺

### 女人の寺にふさわしく

これは元禄時代、女人禁制だった高野山にあって、女性の参詣を許したことから、その名称がついたもの。そのせいか、空生寺は今でも女性の参拝者が多い。入ってすぐ左側の石段が通称「よのい坂」。散り残った真赤なカエデが、金堂の屋根と石段にかけを落している。山の中に造られた空生寺は、平地の寺のような整然とした伽藍構成の美しさはないが、そのかわり、こうした四季の自然とけあつた優美さがあがり、心が癒される。



優美なたずまいを見せる空生寺の五重塔。

が、「そのへんの木の枝に結んでおけば何となく」といってあげます。女性の信者は、きつと愛するよのまなまで、五重塔を見上げられ助かたうら感じ。それにたずまう。まさに「女人高野」のシンボルだ。

奥の院へは、さびに急な登り。深い杉の林を抜け、天然記念物のシタの群生地を横にみて、四段の石段を登る。冬でもひと汗かかされたまじまじ、山は深い。

それだけに、奥の院まで登り、木の間に透しに空生の里を見れば、あつた。これからは絶えないことだろう。

## 伝統的工芸品展望

< 3 >

### にじみ出る風土の味

#### 手づくり産業で躍進へ

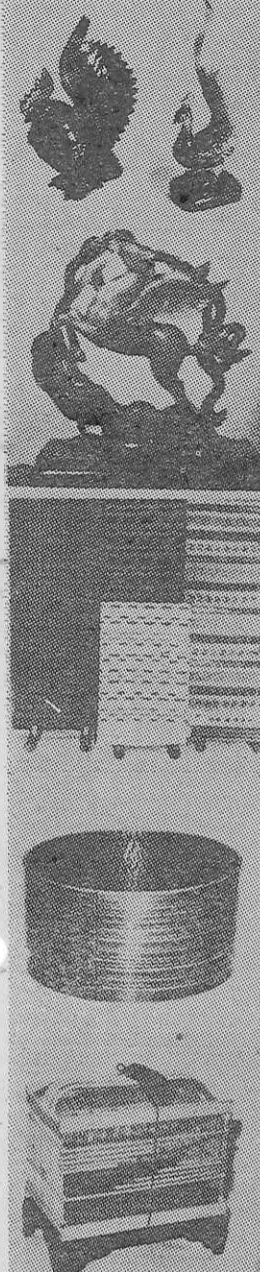
■若狭のうなぎ  
主要産地 福井県小浜市。  
古くから玉造りの産地として、その源流を十七世紀に遡る。嘉永年間には業者が三余に増え、玉造りが、根付を産生し、基盤が確立した。鉄火おひし小籠を用いて原石を削り、鉄火まで形、木こまを使うのが装身具を中心にした仏像、動物を型うつた置物、香炉、器などが産生され、めづる独特の製品を送り出している。

■甲州水晶石細工  
主要産地 山梨県甲府市ほか。  
そのおこりは定かでないが、武田勝頼の遺品のなかに水晶の数珠が、鉄火木こまなどで、深肉、浮き出し彫りなどを行なう。現在では水晶だけでなく、メノウ、ヒスイなどの数珠、結晶、根付など、イなどの数珠、結晶、根付など、に産生した。クヌギ林で飼育する山鹿(やまか)から、特殊な光沢の自の手作業による木地くり、漆塗りの伝統的技術・技法を駆使

■信州織  
主要産地 長野県松本市ほか。  
本市ほか。  
十八世紀のはじめ、地場産業として奨励され、盛んな養蚕ともなされた。クヌギ林で飼育する山鹿(やまか)から、特殊な光沢の自の手作業による木地くり、漆塗りの伝統的技術・技法を駆使

■飛騨漆器  
主要産地 岐阜県高山市ほか。  
十七世紀のはじめ、もともと

■京都新巻の行事  
【一日】(白)おけら祭(八坂神社)。大晦日から続く。吉兆の火で雑煮やカユを炊くと二年間病難にかからぬといふ。▼元日祭(平安神宮)。回廊の釣燈籠に点火し、庭上に火を焚くので壮観。▼歳日祭(松尾神社)。酒神への信仰から「ヨカカ」の鏡開きがある。▼修正会(大覚寺)。心経祈禱会は午前零時から。門跡ほか一山の僧が集まる。二日。▼大福茶(六波羅通)。平安初期、悪病が流行したとき空也上人が薬湯を本尊に供えたところ病気が治癒したといふ。三日。▼初詣(とけまじり始め)下鴨神社。御所に伝わる京の伝統芸能を奉納する。四日ま



伝統的工芸品の展示品。

東京のお泊りは文教の地「本郷」で

経験する 修学旅行のメッカ本郷へ 奉仕する

一近畿日本ツーリスト協定旅館連盟東京支部本郷地区会員一

長追ふ	旅館	機朝富真文	旅館	日本朝平
栄分た	大	山明士成京	か本学郷	陽安
旅旅	正	館館館館館	学生	館館
	旅	館館館館館	会館	別本
		館館館館館	館館	家
			館館	荘

いらっしやいませ

びわ湖国定公園 近江路の旅へ

収容 600名様  
浴場 150名様  
設備 全館冷暖房  
防災 諸設備完備  
駐車場 バス20台

政府登録 国際観光旅館 **びわ湖ツーリスト・ホテル**

大津市におの浜3丁目2-25 電話 大津(0775)24-2321

チロル風のホテルは仲良し8人が一緒です。

集団生活の安全管理と宿泊の生徒さんの自主管理の両面から入念に設計された「スズカビレッジ」

2人で1台実物のエンジンを分解・組立てる  
250名収容のテクニカルホールの生きた科学教育。  
空へ、水へ、緑の中へ...自分でハンドルを握る「ゆうえんち」。  
国際レーシングコースを走るレーサー気分も.....  
そして陽の落ちた広場でファイアーストームを囲んで校歌を歌うひととき——  
チロル風ビレッジの一夜、翌朝伊勢湾から昇る朝日も忘れがたいもの、どれを取っても学生生活を刻んだキラリと光るひとコマです。

昨年一年間で11万人もの学生さんがこの思い出深い修学旅行を体験しています「人と科学と自然の接点」  
今年の修学旅行こそスズカを加えた(新近畿ルート)をご検討ください。  
スズカから京・奈良・伊勢・志摩へも2時間の距離未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。

**スズカランド** 三重県鈴鹿市稲生町 電話=0593(78)1111  
鈴鹿サーキット

本社: 東京都中央区八重洲5-5 電話(274)5821  
大阪営業所: 大阪府大阪市北区芝田町57-5 電話(372)1526